

重点事業調書

担当部局・課名		環境文化部スポーツ振興課、環境文化部文化振興課			
重点事業の名称		地域クラブ活動環境整備事業			
第3次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造			
	戦略の方向	8 生きがい・元気づくり支援プログラム			
	施策	1 重点文化とスポーツの力を活用した地域の活性化 2 重点生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進			
第2期 創生 戦略	基本目標	4 地域の活力を維持する			
	対策	4 地域持続的発展のための活力の維持			
	課題パッケージ	4-② 地域社会の活性化			
終期設定(年度)	R7	予算区分	一般	事項名	部活動の地域移行整備事業費
現状、 課題 必要性	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進行により、学校部活動を従前と同様の体制で運営することが難しくなっている地域があることから、国は、令和4年12月、学校部活動の適切な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき地域クラブ活動の在り方を示すガイドラインを策定し、地域の実情等にに応じて可能な限り早期の実現を目指すよう、県及び市町村にその取組を促している。 ・国は、まずは中学校の休日の部活動を地域へ移行させていくことを目指していることから、県では、中学校を所管する市町村に対し、必要な情報提供を行うとともに、課題の整理や人材バンク機能の充実等を行ってきた。 ・地域のスポーツ・文化環境の整備に向け、地域の実情や課題等を把握するため、市町村やスポーツ・文化団体との意見交換会を開催している。 ・学校部活動の地域連携・地域移行について、環境文化部は、県教育委員会と連携してその取組を進めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化活動の機会を学校主体の取組から地域主体の取組へ移行させていく必要があるが、学校部活動がそのまま地域クラブ活動へ移行すると考えている人が一定数存在するなど関係者の理解が十分深まっていない。 ・学校部活動の取組を国が示す地域クラブ活動へ移行させていくにあたり、関係者の理解や地域の実情に応じた段階的な体制整備、指導者の確保等、多くの事項を調整していく必要があり、進め方に苦慮する市町村が一定数存在している。 ・指導可能な地域が限定される指導者も多くいることから、中山間地域をはじめ地域によっては、指導者の確保が困難な状況である。 <p>【必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日の部活動の段階的な地域移行を実現するためには、令和5年度に実施した市町村やスポーツ・文化団体との意見交換会で得られた意見等を踏まえるとともに、市町村、スポーツ・文化団体、学校、地域の関係者等が連携し、その方策の検討や課題解決に向け、情報共有を図る必要がある。 ・指導者の確保を進めるためには、人材バンクの機能等を充実させる必要がある。 ・子どもたちの多様なニーズに応えるためには、指導者の資質向上を図る必要がある。 				
事業内容	<p>1 新潟市町村等支援事業《379千円》</p> <p>(1) 連絡会議の開催・運営等《379千円》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県、県教委、市町村、関係団体等を構成員として、令和5年度に引き続き、意見交換の場を設けるとともに、これまでの意見交換会（県主催）や実証事業（教育庁主催）で得られた課題等の解決策や市町村等への支援方策等の情報共有を行う。 ・全市町村を構成員とすることで、成功例の横展開につなげるとともに広く周知を図る。 <p>2 新潟指導者の育成・登録促進等体制整備事業《7,499千円》</p> <p>(1) 人材バンク「おかやまスポーツナビ」「マイニングおかやま」の充実《6,981千円》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存データのブラッシュアップ ・各指導者の情報として、地域クラブ活動への対応の可否や研修会参加実績等を付加 ・競技団体等と指導者をつなぐ仕組みの開発 ・チラシ作成等による登録促進に向けた啓発 <p>(2) 研修会の開催《518千円》</p> <p>将来的な学校部活動の地域移行を見据え、地域クラブでの活動が円滑に実施されるよう、まずは必要となる知識を有した指導者を多く確保すること、さらには指導者の資質を向上することを目的とし、研修会を行う。</p>				

	<p>①裾野拡大に向けての研修（スタートコーチレベルに相当するもの） これから指導者になることを希望している人、地域クラブ活動に興味のある人を中心とした研修を行う。</p> <p>②資質向上に向けての研修（コーチ1レベルに相当するもの） 中央競技団体等から専門的な講義のできる講師を招き、すでに活動している指導者を中心に、資質の向上を目指した研修を行う。</p> <p><参考：教育庁における取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 拠点校における活動充実に向けた実践研究 ○ 中学校における部活動指導員の配置 						
事業の意図 効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進行し、学校部活動として成り立たなくなっている地域であっても、地域の実情等に応じて可能な限り早期に地域クラブ活動の充実を促すことで、子どもたちが継続してスポーツ・文化に親しむことができる環境の充実を図る。 ・学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行の参考となる情報や各種先進事例等を市町村と共有することで、市町村の支援につなげる。 ・人材バンクの機能を充実させ、指導者の掘り起こしを図ることで、地域指導者の裾野の拡大につなげる。 ・子どもたちの多様なニーズに応えられるよう、地域指導者に研修を実施することで、資質の向上につなげる。 						
事業目標	事業	生き活き指標、重要業績評価指標(KPI) 等			現状値	目標値(R6)	差
	1、2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合 <第2次岡山県スポーツ推進計画> 			34.3% (R3)	50.0% (R9)	15.7%
事業費の見積もり	区 分		R5 予算額	R6 予算額	R7 見込額	R8 見込額	R9 以降見込額
	事業費(単位：千円)		0	7,878	7,218	0	0
	財源内訳	国 庫	0	518	518	0	0
		起 債	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一 般 財 源		0	7,360	6,700	0	0	